

『平成 29 年度富山市学校教育指導方針』の活用について

本市学校（園）教育の基本的な方針や重点を示した『平成 29 年度富山市学校教育指導方針』を教育活動の指針として積極的な活用を期待しています。

1 教育指導の「重点事項」

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 習得した知識・技能を活用した、思考力・判断力・表現力等の育成
- 学習の基盤を形成している言語に関する能力の育成
- 「確かな学力」の定着を図る規律ある学習態度の育成

2 指導の重点について

第 1 章 教育指導の中核

- ・「学校（園）経営」では、自他の命を大切にす指導の充実を図る。
- ・「学習指導」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた問題解決的な学習の過程を通して、思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業を充実する。
- ・「生徒指導」では、子どもの発するサインを見逃さないよう、日ごろから児童生徒理解を着実に進め、問題行動の早期発見に努めるとともに、一人一人に応じた指導方針を確立する。

第 2 章 教科等の指導

- ・各教科等における指導に当たっては、言語活動や体験的な活動の充実を目指し、関連資料を参考に具体的な活動をイメージし、日々の学習の指導計画を立てる。
- ・道徳科では、道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題としてとらえて、「考え、議論する道徳」になるように努める。

第 3 章 今日的な課題

- ・「教職員の資質・能力の向上」、「校務の効率化」等、今日的な課題への対応について、全教職員で共通理解し、実践に努める。
- ・「幼・小・中学校の連携」では、中学校区における連携を推進し、発達段階に応じた効果的な指導を行い、子どもの連続的な学びと成長を保障する。

教科等指導員の紹介

1 学期の学校訪問研修会は、2 2 校 3 園で行いました。教科等指導員は、指導主事とともに、各校の実践に見られる努力・成果をとらえて、共に考え、学びながら課題の解決に向けて研修を行いました。2 学期もよろしくお願ひします。

学校訪問研修会の趣旨

各学校（園）の教育目標実現のため、富山市教育委員会の指導方針に即し、学校（園）運営・教育指導及び研修等に関して、指導・助言し、当面する課題を中心に解明を図り、教育実践の効果を高めることを旨としています。

今年度から学校訪問研修会を隔年実施とすることで、訪問する指導主事等を増やし、学校への指導・助言の充実を図っています。

【小学校】			【中学校】		
教科等	氏 名	勤務校	教科等	氏 名	勤務校
国語	上野 美紀	神明小	国語	松下 良策	速星中
	山田 靖之	広田小		坂部 泰子	月岡中
	道下 佐和子	光陽小		田島 睦夫	杉原中
社会	津幡 和英	八尾小	社会	今村 雅江	西部中
	島田 浩幸	鷗坂小		本間 由香子	月岡中
算数	安川 友理恵	大久保小	数学	絹野 美穂	速星中
	高井 慈美	月岡小		横野 誠	奥田中
	沢潟 美由紀	呉羽小		山元 寿子	大泉中
理科	稲本 堅太郎	芝園小	理科	佐藤 真	岩瀬中
	浅野 真樹子	柳町小		伊勢 威知郎	南部中
生活	黒崎 恭子	蟻川小	保健体育	横山 絵里子	南部中
音楽	城石 寛子	八幡小		松井 智史	新庄中
図画工作	坂井 政信	古沢小	技術	竹井 康人	水橋中
家庭	野口 真美	西田地方小		家庭	金泉 孝子
体育	宇佐美 香里	宮野小	英語	志賀 靖子	呉羽中
道徳	善光 幸代	五福小		山本 裕子	新庄中
特別活動	大窪 智恵子	保内小	道徳	片山 幸男	三成中
総合	原田 郁美	奥田小	特別活動	古川 順子	堀川中
外国語活動	中田 淳子	岩瀬小	特別支援	藤澤 佳奈美	八尾中
特別支援	金尾 尚子	熊野小			
	山下 典子	新保小			